

滝川高校は平成25年度から Super Science High School (SSH) としての教育活動を行っています

1 SSHとはどんな取組ですか？

文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして理数教育の充実を図る取組です。



【ロケット実験：赤平】

2 SSH事業の指定校はどのくらいありますか？

この事業の指定を受けている高等学校は、全国で約200校あります。道内では空知管内の滝川高校、岩見沢農業高校を含めた10校が指定されています。

3 SSH事業の期間は何年間続くのですか？

本校では2年前から5年間の予定でこの事業に取り組んでいます。国からこの事業に関して毎年1,000万円程の予算がついて、教育施設の充実や、企業・大学との連携事業、生徒の道外・海外研修事業等に活用しています。

4 滝川高校でのSSHのテーマは何ですか？

本校では、メインテーマを“Takiko Frontier Science”「環境共生」と定めて、先進的な理数教育プログラムを構築し、国際社会で活躍する人材育成を目指します。

5 SSHは具体的に生徒のどんな力を伸ばすのですか？

- (1) 生徒の科学する心・科学的能力の育成を目指します。
- (2) 大学や企業と連携して最先端の科学技術を学び、学習意欲の向上を目指します。
- (3) 単なる知識の蓄積だけでなく、実社会に適応できる問題解決能力、創造力の育成を目指します。
- (4) 国際社会で貢献できる力を付けるために、英語での表現力や対話力の育成を目指します。
- (5) 身近な地域に関わる科学研究に取り組み、地域社会へ寄与できる人材育成を目指します。

6 具体的なSSH関連授業はどんなものがありますか？

＊1年次理数科（SSはスーパーサイエンスの略です。）

- (1) フロンティアサイエンスⅠ（課題研究の基礎を学ぶ科目）
- (2) ライフサイエンスA（自然環境と生態系のシステムを学ぶ科目）
- (3) SS国語総合
- (4) SSコミュニケーション英語
- (5) SS理数数学
- (6) SS書道・SS音楽・SS美術

7 SSHは理数科のみの取組ですか？

取組の中心は理数科ですが、施設の充実や普通科でのSS授業プログラム、サイエンスツアー、特別授業、道外研修・海外研修会など普通科の生徒も含めて、全校的な取組となります。

滝高フロンティアサイエンス通信

H27.4.8 SSH・理数科

第 1 号 ②

8 SSHの特色的な取組にはどんなものがありますか？

- (1) フィールドワークを中心とした校外研修
 - (2) 大学や企業に出かけての校外研修
 - (3) 研究者を招いての特別授業
 - (4) 課題研究とその発表会
 - (5) 英語での発表会
 - (6) 道外研修(冬季休業中、東北コース・東日本コース)
 - (7) 海外研修(夏季休業明け、マレーシア)
- などを行います。



〔マレーシア研修〕

9 SSHの授業を行うことで大学受験に不利になりませんか？

基本的に主要5教科の授業時間は変わりません。さらにSSHのプログラムを通じて生徒の「思考力」「判断力」「表現力」の育成を目指します。もちろん大学受験につながる基礎基本的な学習にも取り組めますが、この3つの力は最近の大学入試でも特に個別試験(2次試験)で重視される傾向にあります。またこの3つの力は、特に大学に入ってから教育に直結するものです。

すでに過去にこの事業に取り組んでいる高校からは、生徒の学習に対するモチベーションも上がり、大学受験にも有利に働いているとの成果報告を受けています。

昨年度の取り組みの様子



〔SSH 全国大会発表：横浜〕



〔水質調査・マガン観察：宮島沼〕



〔大学での授業：酪農学園大学〕



〔道外研修：東北コース〕

* 本校では、SSHに関するご意見、ご質問等はいつでも受けています。

SSH担当：菊池・長澤までお願いします。(北海道滝川高等学校 0125-23-1114)